

科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間

様式2-2

定員 20 名

日付	時間	時間数	科目・項目番号	項目名	講師氏名
		2.5		開講式・記念講演・オリエンテーション	
		3	1-1	多様なサービスの理解	川合 富士美
		3	1-2	介護職の仕事内容や働く現場の理解	西浦 芳香
		1	2-1	人権と尊厳を支える介護	山口 純子
		1	2-2	自立に向けた介護	山口 純子
		1	3-1	介護職の役割、専門性と多職種との連携	夏目 従子
		1	3-2	介護職の職業倫理	夏目 従子
		1	3-3	介護における安全の確保とリスクマネジメント	夏目 従子
		1	3-4	介護職の安全	夏目 従子
		3	4-2	医療との連携とリハビリテーション	後藤 健一
		1.5	4-1	介護保険制度	山口 純子
		1.5	4-3	障害者自立支援制度およびその他制度	山口 純子
		1.5	6-1	老化に伴うこころとからだの変化と日常	山口 純子
		1.5	6-2	高齢者と健康	山口 純子
		1.5	5-1	介護におけるコミュニケーション	宮野 恵子
		1.5	5-2	介護におけるチームのコミュニケーション	宮野 恵子
		0.5	7-1	認知症を取り巻く状況	福田 勝代
		0.5	7-2	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	福田 勝代
		1	7-3	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	福田 勝代
		1	7-4	家族への支援	福田 勝代
		1	8-1	障害の基礎的理解	鈴木 陽一郎
		1	8-2	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	鈴木 陽一郎
		1	8-3	家族の心理、かかわり支援の理解	鈴木 陽一郎
		2	9-1	介護の基本的な考え方	宮野 恵子
		1		実技・実習に伴うオリエンテーション	宮野 恵子
		1.5	9-2	介護に関するこころのしくみの基礎的理解	宮野 恵子
		1.5	9-3	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	宮野 恵子
		2	9-5	生活と家事	本多 ゆかり
		3	9-4	快適な居住環境整備と介護	小堀 哲也
		6	9-6	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	明間 正恵
		6	9-7	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	明間 正恵
		5	9-7	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	稲垣 昭子
		6	9-8	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	馬場 佐知子
		5	9-9	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小菅 伸恵
		6	9-10	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	川津 由紀
		6	9-11	睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	佐々木 秀代
		3	9-12	死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	安藤 真由美
		5	9-13	介護過程の基礎的理解	宮野 恵子
		5	9-14	総合生活支援技術演習	宮野 恵子
		4	10	実習	実習施設担当
		1		修了試験	山本 満
		5		補講・再試験（該当者のみ）	宮野 恵子
		2		修了式・懇親会	事務局

※講師選定要件(別紙2)等を確認した上で講師を配置すること。

## 添削指導に関する添削指導日程

答案提出日 又は期限	添削返送日	通信形式で実施 する時間	科目 番号	科目名	添削講師氏名
			2	介護における尊厳の保持・自立支援	安藤 裕子
			3	介護の基本	夏目 従子
			4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	高和 節子
			5	介護におけるコミュニケーション	向坂 直巳
			6	老化の理解	岩室 近子
			7	認知症の理解	小田 ひろみ
			9	こころとからだのしくみと生活支援技術(1) (2) (3)	白井 芳秋
				こころとからだのしくみと生活支援技術(4) (5)	

また、再評価が必要な場合も想定し、余裕を持った添削スケジュールとすること。

○時間数( )内は通信の時間

項目	通学	通信	項目	通学	通信
1	6時間		7	3時間	(0.0時間)
2	2時間	(0.0時間)	8	3時間	(0.0時間)
3	4時間	(0.0時間)	9 I	5時間	} 9 I ~ IIIの合計(通学+通信) 63時間
4	1.5時間	(0.0時間)	9 II	48時間	
5	3時間	(0.0時間)	9 III	10時間	
6	3時間	(0.0時間)	10	4時間	
			合計	94時間	(0時間)
			総合計	130時間	